



校園長だより

岸和田市立春木小学校
No. 3 幼稚園
令和6年 7月 2日
校園長 池住 秀文

☆7月3日は創立記念日（創立152周年）☆

7月3日は春木小学校の創立記念日です。春木小学校のホームページに、学校の沿革のページがあり、そのページで確認すると、春木小学校は明治5年（1872年）5月5日に創立され、今年で152年を迎えたことになります。

ここで少しおかしいことに気づきます。創立した日は5月5日となっているのに、創立記念日はなぜ5月5日ではなく、7月3日なんだろう？この疑問について、学校の沿革で少し調べてみることにしました。

まず、今から152年前の1872年、計算しやすいように西暦で記していきます。この年は学制と言われる教育制度が定められた年で、学校が各地域に作られるようになった年です。沿革では、5月5日に西性寺で学校が創設され、7月に開校されたとあります。しかしここでは7月3日は出てきません。



沿革を読み進めていくと、学校の名前や場所が数回変わっていることがわかります。開校当時は春木郷学校（はるきのごうがっこう）だったのが、次の年には53番小学校と名前を変え、その後、春木小学校、春木尋常（じんじょう）小学校、春木簡易小学校、北掃守（きたかもり）尋常小学校、北掃守尋常高等小学校、春木尋常高等小学校、春木国民学校と改称され、今から77年前の1947年に今の岸和田市立春木小学校となったようです。

場所も数回移転しています。西性寺から西福寺、そして今の校舎よりも70mほど西に位置した場所に移り、現在地には1919年4月、今から105年前に移ってきたようです。

また、この春木小学校は何度か火災にあっており、1940年の火事では2階建ての木造校舎が焼失、さらに1947年の火事でも、1階建ての校舎が焼失したということです。この火事後、1948年7月に新しい校舎が建てられ、1954年、その新しい校舎が完成した日を復興記念の日とし、その復興記念の日から、開校記念日を7月3日に定めたことがわかりました。

ちなみに各学級がある今の校舎は1999年に建てられたもので、それ以前の写真をみると、今のブランコやうんていのあるところにも校舎があったようです。保護者の皆様の中にも、この春木小学校出身で、昔の校舎の様子などを覚えておられる方も多いかと思います。3年生の社会科、「市の様子とくらしのうつりかわり」の単元等では、もしかすると子どもたちから、昔のくらしの様子について、質問が出てくるかもしれません。その際は、学校であったり、遊具であったり、普段子どもたちが当たり前だと思っているものの「えっ、そんなにちがうの？」と驚くような変化を教えてあげてもらえたらと思います。

（※幼稚園も創立記念日は小学校と同じ7月3日としていますが、幼稚園の沿革では、1935年3月30日、西福寺に春木町立幼稚園設立とあります。）